

「保健医療科学」
第51巻 第3号 予告

特集：医療安全の新たな展望

医療安全の基本概念	長谷川敏彦
医療安全総合政策	新木一弘
医療安全国際動向	藤澤由和
事故の疫学	平尾智広
危険管理原論	長谷川友紀
安全管理院内組織とその機能	相馬孝博
医療安全文化論	藤澤由和
事故報告分析改善システムとRCA手法	柳川達生
FMEAの医療事故予防への応用	田中健次
誤薬予防パッケージ	相馬孝博
輸血事故予防パッケージ	河原和夫
医療安全としての院内感染予防	武澤 純
手術関連事故対策	相馬孝博
出産の安全管理	谷津裕子
精神医療の安全管理	伊藤弘人
長期ケアの安全管理	小山秀夫
施設科学から見た安全管理	笈 淳夫
ヒューマンファクターと医療安全	石橋 明
質管理原論	飯田修平
臨床指標ベンチマーキング	長谷川友紀

編 集 後 記

厚生労働省の組織再編により「国立公衆衛生院」、「国立病院・医療管理研究所」および「国立感染症研究所口腔科学部」は「国立保健医療科学院」と改組されました。それに伴い、本号より「国立保健医療科学院」の機関誌として「保健医療科学」が発行されます。

基本的に「公衆衛生研究」を継続するため、第51巻第2号となりました。編集の方針も従来の学術誌としての投稿論文と、保健医療福祉分野の現場で活用される特集論文を中心に進める予定です。

「新しい皮袋に新しい酒を」といいます。芳醇な酒は何年もの歳月をかけて最良の杜氏、最良の米、最良の水そして最適の環境で熟成されていきます。そして飲み頃に適度に飲むなら、百薬の長となり健康の一助ともなります。

本誌においても、これから何年もの年月をかけ、よき読者とよき投稿者、そしてよき編集者に恵まれ、新世紀に読み継がれる雑誌であるために、皆様の暖かいご指導とご鞭撻を心より希望いたします。(T.I.)